



山梨県に初進出する「コストコ南アルプス倉庫店」との複合商業施設「fumotto南アルプス」。3つのエリアのうち地域活性化の拠点となる「地域交流エリア」が6月30日に先行してオープンしました

行政、世界的大企業、地方の中小企業がコラボする官民協業による新しい形の地域活性化施設「fumotto南アルプス」。こののうち山梨の魅力を発信する42の店舗が集う「地域交流エリア」が先行オープンしました



去る令和6年6月30日に、山梨県を縦断する中部横断道の「南アルプスIC」前に、地域活性化の拠点となる「fumotto南アルプス」の地域交流エリアがオープンしました。

「fumotto南アルプス」は、12ヘクタールの事業用地を大型商業エリア、交通拠点エリア、及び地域交流エリアの3エリアに区分して開発を行い、大型商業エリアには会員制大型商業施設「コストコ」が山梨に初進出し、交通拠点エリアは市の主導により、将来的な道の駅認定を視野に入れて、バスターミナルや観光案内施設が整備される予定です。

先行オープンした「地域交流エリア」は、株式会社ヒカレヤマナシ（代表竜沢恒）が「山と暮らすまち」という開発コンセプトのもとに開発・運営を行い、42の店舗が出店しております。

エリアの概要として、敷地中央に直径約75Mの多目的芝生広場を配置し、それを囲う様に、山梨の食文化と農業の魅力を発信する「ファーム・ベース」、南アルプスでのアウトドアの魅力を発信する「マウンテン・ベース」、山梨の暮らしや文化を発信する「ローカル・ベース」の3つのゾーンにより構成しています。

このうちファーム・ベースには、山梨県内最大となる農産物直売所とローカルガストロノミーをコンセプトとしたワインの飲み放題もあるダイニングレストランのほか、国産牛の精肉直売所、フルーツパーラー、クロワッサンの専門店が出店しています。

マウンテン・ベースは、BMXやMTBを取り扱う自転車専門店が出店しているほか、「ソトアソビ」の空間を目指し、1周400Mのサイクリトレイル、ラジコンサーキット、RVパーク、魚のつかみ取りなど様々なアクティビティを用意しています。またエリアの一角には「日本初」のトレーラーハウスによる野外フードコートとなる「トレーラビレッジ」に、ピザ、韓国料理、ジビエ、ベトナム料理など多国籍な6つの飲食店が出店しています。

ローカル・ベースは、2階建て建物3棟約400坪に、スイーツや土産などの小売店、オーガニック専門店、アウトドア雑貨、伝統工芸品、クラフト、そして飲食店など30店舗以上のテナントが出店しています。

魅力的で個性豊かな42の店舗により、山と暮らすまちの魅力や山梨のすばらしさを広く発信していきます。

今後の展開として、来年4月にはコストコ南アルプス倉庫店がオープンし、その翌年となる令和8年の夏には地域交流エリアの拡張工事を行い、店舗全体の売り場面積を現在の約1,000坪から1,500坪まで約1.5倍に拡張し、店舗数も増加する予定です。

さらに、数年内には交通拠点エリアの開発工事が市の主導により行われ、この完成をもって「fumotto南アルプス」は当初計画が完了することとなります。

南アルプス市は、fumottoを新たな街づくりの拠点として、周辺50haの開発を進めていくことを総合計画に盛り込んでおります。ここは令和における山梨の商業の中心地として、県外から大勢の方々が訪れる場所になると予想されています。

先行オープンした地域交流エリアはその一部にすぎません。今後さらにアップデートしていく「fumotto南アルプス」にこうご期待ください。

更なる施設の詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.porta-y.jp/sightseeing/fumotto>

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000145921.html>

株式会社ヒカレヤマナシのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/145921

【施設情報】

施設名：fumotto南アルプス 地域交流エリア

住 所：山梨県南アルプス市十日市場1571-1

敷地面積：fumotto南アルプス全体：約1.2 ha、地域交流エリア：3.2 ha

営業時間：9時～21時（店舗の営業時間は店ごとに異なります）

U R L：<https://fumotto.jp/>

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社ヒカレヤマナシ 広報担当：竜沢、長田

電話：055-225-3366 メールアドレス：htatsuzawa@alps-hs.co.jp